

等々の要求事項を決議し、資平家に叩きつけると同時に、全員はハンマーを捨て、バイトを投げ、モーターのスイッチを切って正々堂々隊伍を組んで争議闘争へ引き上げた。小川より夫々大井分工場(四〇〇)の従業員は全工場の青年闘士横井君に徹した。事故、故の出勤停止に対して断固たる決意の下に会社に迫り、本工場と連絡をとりつゝ、日本光學、豊岡、大井西工場一〇〇〇名の総罷業の準備を進めてみたのであった。

豊岡本工場 逐いに起つゝ。と知るや色を失って狼狽した資本家は横井君を説き止し、即時取消し大井工場の厥起を鎮めようとい見苦しい醜体を演じてゐる。だが、永い間、いがめ抜かれ馬鹿にされて来た大井の兄弟はそんな事では鎮まらぬ。今や正に本工場の兄弟と共に歩調を合せ闘争となつた。親愛なる組合員諸君、！。

永い間、資平の兄弟より振ひ立った光學の兄弟を支援せよ。

一九三一年三月

関東金属労働組合

三月三十一日